

第419号

発行  
浄土真宗  
心光寺  
奥原曇龍  
倉敷市早高426  
☎(086)420-1311



# 再び会える



カット：本多紘子

年の暮れとなり、何かとあわただしい季節となりました。今年は夏の猛暑から一足飛びに冬が来たようで、寒さがひとしお身にしむ年の瀬です。皆様方、体調は如何でしょうか。

一年があつという間に過ぎ去っていくようで、「光陰矢の如し」の諺どおりですね。今年も元旦早々の夕方に、石川県能登地方で震度7の大地震があり、地震による家屋の倒壊や津波・火災で多くの人が死亡しました。一年が経とうとしているのに、被災地の陸上支援や海上支援がままならず、復旧が遅れているのは悲しいことです。

今年も地球温暖化が原因で、世界中が天候の異変を起こし、ヨーロッパや米国でも大雨や大風に見舞われて大洪水が起きたり、雨が降らず乾燥で大きな山火事が起こって家屋を焼失した町もあります。日本でも線状降水帯が発生して、急激に大量の大雨が降り、河川が氾濫して洪水となった地域が広がっているのは心配です。

またロシアのウクライナ軍事侵攻による戦争も1000日を迎えても終わらず、ハマスとイスラエルの軍事衝突も激化し、どちらも解決の糸口が見えていないのは残念です。これらの事態によって、小麦をはじめとする食物や石油・天然ガスの流通が影響を受け、物価が値上

\*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

がり続けているのは、一般庶民には受け入れがたいですね。心配事と言えば、米大統領選が11月5日に投票票され、共和党のドナルド・トランプ前大統領(78)が、女性のカマラ・ハリス副大統領(60)を撃破して勝利したことです。「米国第一」を掲げ、世界の警察の役割を放棄し、保護主義、孤立主義、単独主義を強く打ち出して、世界の安定化に貢献することを拒否しているのは寂しいです。嬉しいことと言えば、米国大リーグで投手と打者の二刀流で活躍している大谷翔平(30)選手が、昨年のオフにアメリカリーグのエンジェルズからナショナルリーグのドジャースに移籍し、肘を痛めていたので指名打者として活躍しました。本塁打54本、盗塁59個を決めて米国大リーグ史上初のヒフティ・ヒフティを成立させ、ナショナルリーグで一位となり、また念願の両リーグ決戦でドジャースを優勝させるのに大貢献しました。今や世界のダビッドとなり素晴らしいですね。11月13日に、愚僧の大好きだった現代詩人の谷川俊太郎(92)さんが老衰で亡くなり淋しいです。「二十億光年の孤独」や「生きる」という詩に感銘を受け、またテレビアニメ「鉄腕アトム」の主題歌の作詞をして人々に親しまれました。本当に有り難うございました。人生に出会いと別れは付きものですが、今年の1月4日に愚僧も妻の博子坊主(64)のお葬式をして、門信徒の皆様と別れの儀式を致しました。半年前に末期の膵臓癌を診断され、元気だった妻があつという間に痩せ衰え、浄土に旅立ったのです。最期まで愚痴を言わず、みんなに感謝の気持ちを伝えていたのが忘れられません。浄土真宗では亡くなられた人は、みんな仏様のいられる西方の極楽浄土に生まれていくと思つて下さいという信仰なので、愚僧は有り難く感じています。命の故郷であるアミダ(まごころ)の世界に帰って行くという考え方に安らぎを覚えます。この世で不思議な縁が合つて家族や親戚となりましたが、アミダ(まごころ)の世界でまた再会できると思うと、悲しみが少しだけ和らぎます。合掌(奥原 曇龍)

『人生は出会いがあれば別れゆく 再び会える浄土の世界』 どんりゆう



カット：府川 綾

## ともしび説法

日時・十二月 十日「火曜日」 午後一時半から四時頃まで。  
一月 一日「水曜日」 午後一時半から四時頃まで。  
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺 倉敷 検索](#)





# お釈迦様ものがたり 98

お釈迦様とアーナンダの二人は、娯婦アンバパーリのマンガール林から竹林村(ヴェールヴァ)に行き、雨期の安居(托鉢に出ず家中で勉強すること)に入られました。

遊行経巻二には、その時竹林村は飢饉に襲われ、比丘(僧)たちの食を求めがたいことを知ったお釈迦様は、比丘たちを集めて話されたのが、次のことです。竹林村一帯は飢饉にして、食を乞い求めても得ることは難しいだろう。汝らよろしく各々、別れてワツジ国の首都ヴェーサリーや縁故のある場所で、雨安居をして欲しい。私はアーナンダと二人だけで、竹林村で雨安居をしようと述べました。

「行け、汝比丘たちよ、ヴェーサリーの辺に、友人を頼り、知人を頼り、親友を頼りながら雨安居に入れよ」と。

ところが、お釈迦様が安居に入られた時、急に恐ろしい病が生じて、死に近きほどの激しい苦痛が起った。しかしお釈迦様は苦しみを訴えないで、正念に住して自覚し耐え忍んでいられました。

そこで深く思惟され、「われ、弟子に告げず、比丘衆を教訓せずして入滅(死)するとうようなことがあらば、仏陀(仏)としての私に相応しからざることである。われ、いま精進によりて、この病に耐え、寿命を留め残して住せねばならない」と…。

かくしてお釈迦様は、精進によって病に耐え忍び、寿命を留め残されました。

従者のアーナンダはお釈迦様の病苦を見ては、おろおろしてなすところを知らなかったが、しかしお釈迦様は弟子や信者たちに別れを告げないで、入滅されることはないであろうと考えていたので、お釈迦様の重患に対しても、それほど憂慮しませんでした。

この旨をアーナンダが申し上げると、お釈迦様はその考えは間違っていると述べて、ゆつくりと語り出しました。合掌(奥原曇龍)



11月3日 報恩講法要(住職方と総代様たち)

## ともしび法話

慌ただしい年の暮れとなりました。皆様お元気で過ごしてでしょうか。

秋の法要も無事に終わり、年末の大掃除や「除夜の鐘」の準備に、お寺はあれこれと大忙しです。門信徒の皆様、総代様たちに深く感謝し、来年もどうぞ宜しく…。

心光寺新坊守(ぼうもり) 府川 綾

ともしび11月号に感動しました。雀が絶滅危惧種の仲間入りをしたとか、糖度が高くて酸味の少ない果物が増え、害虫は甘みを好むので、農薬をまく農家の方も身体をこわし大変ですね。 総社市 匿名

曇龍先生、お元気ですか。博子前坊守様が昨年12月30日に御浄土に帰られ、もうすぐ一年ですね。長女の綾様がすっかり後を継いでおられるので安心しました。

倉敷市新田 高木 美幸

曇龍先生、もう師走です。奥様の博子坊守様が膝臓癌であったという間に64歳で御浄土に旅立ち、門徒一同も寂しい思いをしましたが、今からここから頑張ります。

倉敷市茶屋町 井川 啓子

## ともしび説法

日時・十二月 十日「火曜日」 午後一時半から四時頃まで  
 一月 一日「水曜日」 午後一時半から四時頃まで

場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて  
 電話・(086)420-1311 駐車場有り  
 (宗派を問わず、はじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定

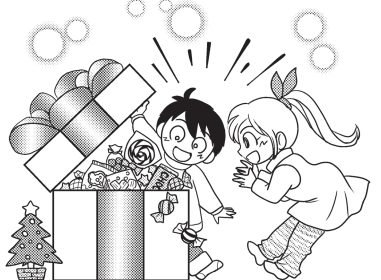
二月 五日(水)・午後一時半から四時まで・早高の本堂。  
 三月 六日(木)・午後一時半から四時まで・早高の本堂。  
 四月 二十日(日)・午後一時から四時頃まで・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。  
 ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方が費用がかりです。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。  
 会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)

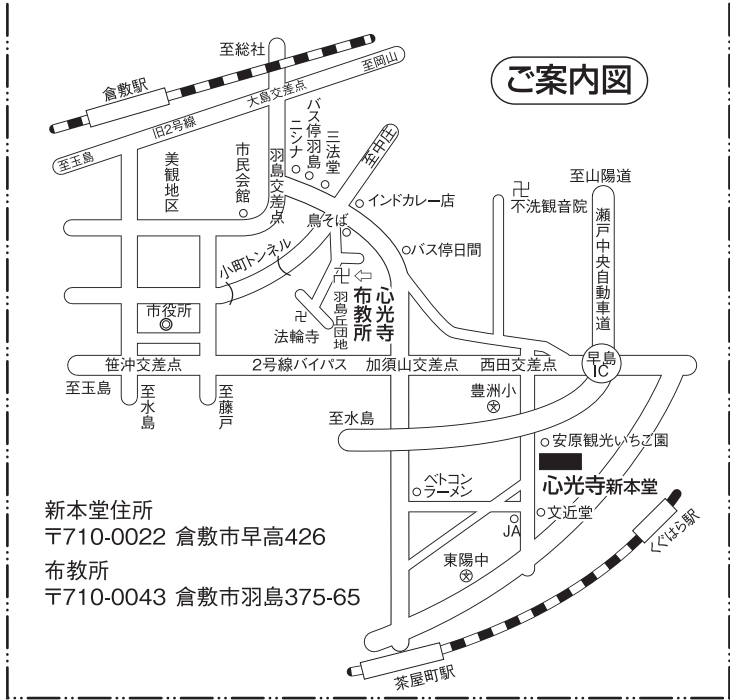


## ともしびの詩

もう師走だ  
 一年があつという間に過ぎた  
 嬉しいことや喜びもあり  
 悲しいことや寂しいことも  
 いっぱい いっぱいあつたよ  
 誰かに支えられ見守られながら  
 ごおん ごおんと除夜の鐘



カット:吉岡美枝



浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。  
 お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらうより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426  
 浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺  
 TEL(086)420-1311 FAX 420-1322  
 携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「419号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。12月10日のともしび説法の日には茶屋町駅西口に12時30分にお寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は心光寺までご連絡下さい。合掌 総代長 本家豊彦